

## 第2章 大田区観光振興のコンセプト

### ～将来目標像と3つの基本的方向性～

#### (1) 大田区観光振興のコンセプト～将来目標像

##### 【大田区観光振興の将来目標・大田観光の姿】

**「知る人ぞ知る魅力」を大切に**する世界に開かれた生活観光都市  
～貴方の知らない数多くの日常が、大田区にはあります～

- ◎大田区には多摩川をはじめとした河川や東京湾の運河、池上本門寺、馬込文士村、優秀なものづくり産業の集積など人々を惹きつける魅力的な資源が存在するとともに、区民が地域への誇りと愛着を持つ礎となる多彩な生活文化に根ざした資源が豊富にあります。これらの資源を大切にし、磨き上げることが大田区の観光振興に向けた取組みの出発点になります。しかし、区内の様々な資源は、区民自身でさえも「いわれ」や「価値」に気づいていない場合も多く見られます。そのため、この「知る人ぞ知る魅力」を大切に、まずは区民が大田区の資源を知り、来訪者にもそれらの魅力に興味を抱いてもらえるような取組みから着手することで、区民自身が自分の住むまちの貴重な資源や魅力について再発見・再確認することで、自らの地域に誇りを持つ機会となるような観光まちづくりを展開します。
- ◎さらに、大田区を知ってもらうために、身近すぎるが故に観光の対象となっていなかったことを改めて見直し、魅力の編集・発信を推進し、海外からの来訪者を含めた多くの人々に認知してもらうことが“知る人ぞ知る魅力”からの脱却につながります。しかしながら、一方で何でも全てを見せるのではなく、また“量”だけを追求するような観光ではなく、区民の生活や産業を尊重しながら、何度も来訪してもらうことで、大田の多彩な魅力を伝える“知る人ぞ知る観光”を大切にすること、これが大田区の都市型観光の目指すべき姿であると考えています。
- ◎区内外の人々が知らない数多くの日常が、大田区内には多く見られることをアピールポイントとして広報することで、観光・集客・交流を軸に、世界に開かれた生活観光をベースとした文化都市に向けて地域に磨きをかけることを目標として、大田区観光振興に取り組みます。



知ってもらう

プラス

大田区の観光

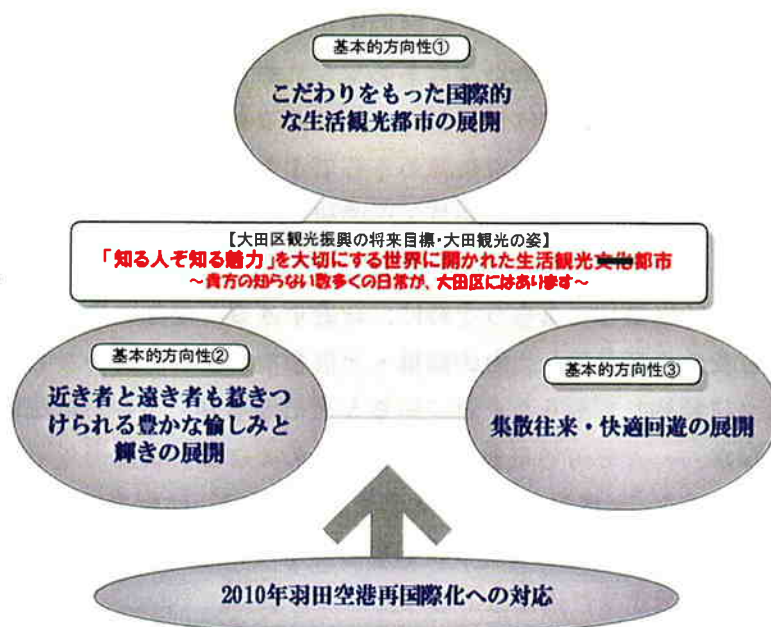
観てもらう

## (2) 将来目標実現に向けた3つの基本的方向性

大田区の観光振興の目標とする『「知る人ぞ知る魅力」を大切に、世界に開かれた生活観光都市』を実現するためには、区民、事業者、大田区等の多様な主体が連携を強めつつ、様々な取組みを効果的に実施する必要があります。そのため、取り組むべき施策・事業を体系化し、具体的に実施すべき取組み、事業の目的と役割を明確にする必要があります。

大田区観光振興計画では、3つの基本的方向と7つの基本戦略のもとに具体的な実施施設・事業を位置づけ、着実に計画の実施に努めます。また、本計画と密接な関連をもつ「大田区産業振興基本戦略」「羽田空港跡地利用 OTA 基本プラン」などで示される諸事業とも連携を図り、大田区観光振興に向けて総合的・効率的な事業展開を推進します。

### >>>>>大田区の観光振興の全体像(イメージ)<<<<<



### **大田区観光の基本的方向性① こだわりをもった国際的な生活観光都市の展開**

これからの時代にはグローバルな視点とローカルな特色の両方を大切にした観光振興が望まれます。

まず、地域の中の身近な生活感やくらし・産業の技を地域の魅力を現す資源として改めて認識し、磨きなおして見ることは、自分たちの住まう地域の良さを見直すとともに、地域住民が地域への誇りや愛着を醸成することにつながるとともに、地域での持続的な活動の源ともなります。

次に、羽田空港の再国際化を契機にして、海外からの観光客の受入れを視野に入れた取り組みへと展開することは、外国人観光客も惹きつける大田区にしかない、大田区らしい多様な観光資源の掘り起こし、大田区を堪能できる体験メニューや来訪して楽しめる舞台の充実につながり、ひいては大田観光を新たな地域ブランドへと導くことにもなります。

### **大田区観光の基本的方向性② 近き者も遠き者も惹きつけられる豊かな楽しみと輝きの展開**

区民が最も身近な来訪者であり、区民が繰り返して行ってみたくなるような地域を創り出すことが、区外の人も訪れてみたくなるような地域となるのです。そのためには、来訪するに値する・行って見たいと思わせるように地域資源を最も良い形で提供できる工夫や気配りに加えて、五感に訴える体験機会や時間・季節の変化・移ろいを活かした地域固有で限定感のある魅力づくりに心がけます。

さらに、賑わいや自然環境・歴史文化環境の大田区の集客の中心核を創り出し、人々の交流が実現できる舞台として育みます。大田区を訪れる多くの人々に豊かな楽しみと輝きを感じさせるまちづくりとともに、大田区観光の充実を図ります。

### **大田区観光の基本的方向性③ 集散往来・快適回遊の展開**

大田区観光ならではの魅力やサービスの提供と効果的・効率的な情報発信によって、まず来訪を実現するとともに、交通便利性の高いまちとしての特性を活かし、公共交通機関等との連携によって、高齢者や子ども、障害のある方、外国人などすべての来訪者が快適に回遊できる仕組みを整えます。

また、来訪された人々に対して、「もてなしの心」を持つことは交流の基本ともなることから、きちんとしたおもてなしができる体制と仕組みを整え、また訪れたいと思わせる地域へと高めていきます。

## **《平成 22 年（2010 年）、羽田空港再国際化への対応》**

平成 22 年度(2010 年度)に想定されている羽田空港再国際化は、大田観光の推進にあたって、世界に開かれた観光への飛翔という観点から、エポック的な事業です。このようなことから、大田観光振興の諸施策・事業の実施にあたっては、平成 22 年を一つの節目と捉えた施策の推進を積極的に展開します。